

# 行政 トピックス

こころ一つに火点を目指す  
正確な操作1秒でも早く！

— 消防操法大会 —



▲ポンプ車操法の部優勝 八木支団チーム

7月18日、園部公園多目的運動場で、第21回京都府消防操法大会の代表選考を兼ねた第2回南丹市消防団操法大会を開催。小型ポンプ操法の部、ポンプ車操法の部に支団の代表1チームずつが出場し



▲小型ポンプ操法の部優勝 美山支団チーム

ました。絶好のコンディションの中、大きな号令ときびきびした動作でホースを延長し、動作の正確さや標的を倒すまでの時間などを競いました。

審査の結果、小型ポンプ操法の部は美山支団、ポンプ車操法の部は八木支団が優勝して府大会の出場権を獲得。府大会出場に向け益田武彦団長は「南丹市の代表として恥じることはないよう、力いっぱいこの操法を披露してきます」と決意を述べられました。

8月1日の府大会では、入賞はならなかったものの訓練の成果を十二分に発揮し健闘しました。また、八木支団指導員が腕用ポンプ操法を披露し、的が倒れた瞬間、大きな拍手と歓声が送られました。

## 五感で学び、伝える食教育

— 男女共同参画フォーラム —

4回目となるフォーラム『キラリなたん』を6月27日、南丹市国際交流会館で開催しました。食育・料理研究家の坂本廣子さんが、テレビ番組「ひとりのできるもん」の制作にかかわった経験や、自身が主宰する料理教室で行う食教育などを基に講演。「子どもには6歳までにいろいろな体験をさせてほしい。子どもは体験することによって物事を判断する能力や自信を身に付ける。食教育は教えるのではなく、本物を体験させること」と話されました。



▲食教育の大切さを語る坂本さん



▲職員が拍手で見送る中、退場する岸上副市長

## 市が二つになるまちづくりを

— 岸上副市長退任式 —

岸上吉治副市長が任期満了により6月30日付けで退任しました。岸上副市長は旧八木町議会議長、八木町長を経て、平成18年7月からは助役および副市長として4年間にわたり、市政伸展に尽力しました。

退任式では市職員を前に「これからは合併という言葉は使わず、旧4町の垣根を取り払って南丹市が一つになるようなまちづくりをさらに進めてほしい」とあいさつ。労苦をねぎらう大きな拍手に送られながら、市庁舎を後にしました。